

# 京都府の地震活動

令和3年（2021年）3月

第34巻第3号

## 京都地方気象台

### 目次

震央分布図、概況	・・・1
震央分布図、断面図	・・・2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・4
【地震一口メモ】震度観測について	・・・5

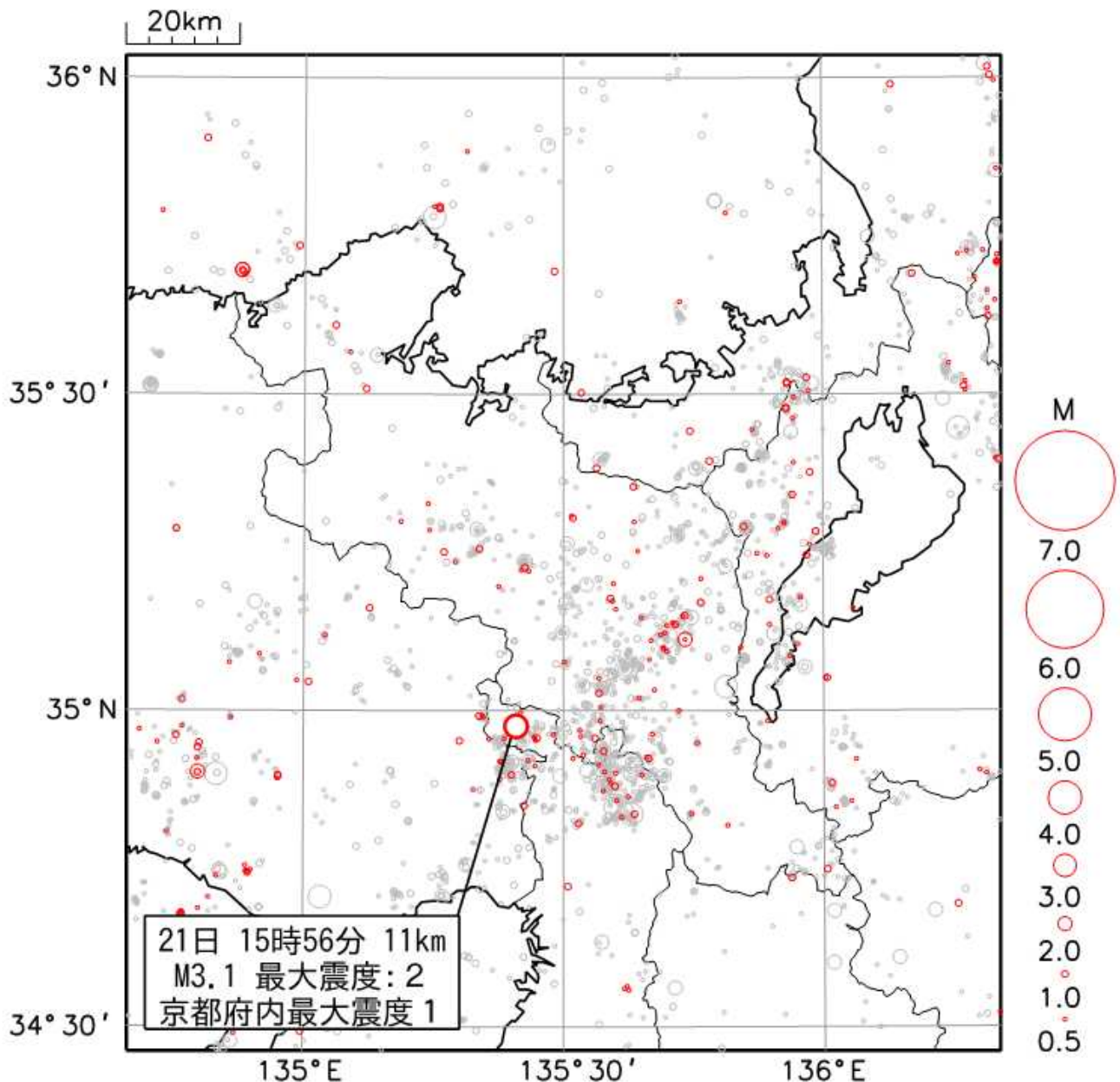
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

## 震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・ (2020年4月1日～2021年3月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ )
- ・ 2021年3月の地震を赤く表示（総数265）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。

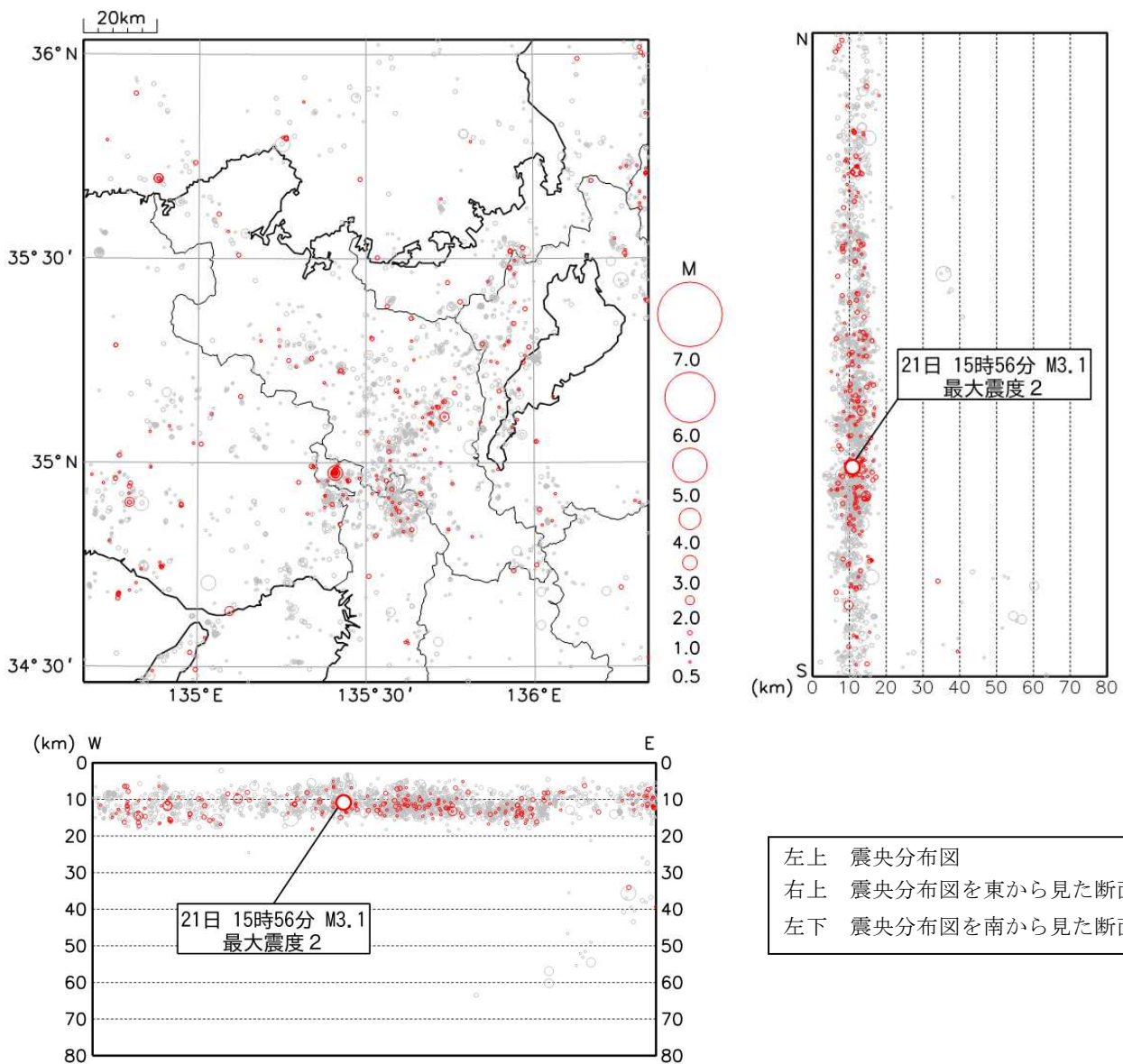
### 概況

3月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は8回、震度1以上の揺れを観測した地震は1回でした（2月はそれぞれ5回、1回）。

京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回ありました（2月は3回）。

21日15時56分大阪府北部の地震（M3.1、深さ11km）により、京都府亀岡市、南丹市で震度1を観測したほか、大阪府と兵庫県で震度2～1を観測しました。

## 震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



左上 震央分布図  
 右上 震央分布図を東から見た断面図  
 左下 震央分布図を南から見た断面図

- ・ (2020年4月1日～2021年3月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ )
- ・ 2021年3月の地震を赤く表示（総数265）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

## 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2021年3月）

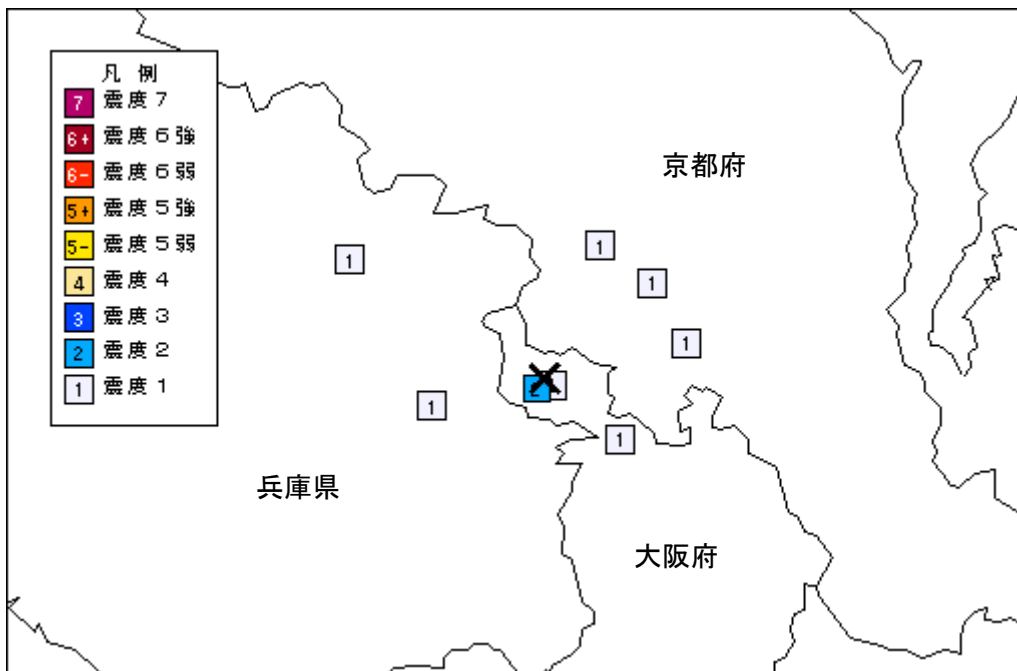
番号	観測日時		震央地名	北緯 (度分)	東経 (度分)	深さ (km)	規模 (M)
	月日	時分					
①	3月21日	15:56	大阪府北部	34°58.5'	135°24.5'	11	3.1

地域	震度観測点	所属	各地の震度	震度観測点	所属	各地の震度
			①			①
北 部	福知山市内記	気	-	京都右京区嵯峨	自	-
	福知山市長田野町	防	-	京都右京区嵯峨嵯原	自	-
	福知山市三和町千束	自	-	京都伏見区竹田	自	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	京都伏見区醍醐	自	-
	福知山市大江町河守	自	-	京都伏見区向島	自	-
	舞鶴市下福井	気	-	京都伏見区淀	自	-
	舞鶴市浜	防	-	京都伏見区久我	自	-
	舞鶴市北吸	自	-	京都山科区安朱川向町	防	-
	綾部市若竹町	自	-	京都山科区西野	自	-
	宮津市柳縄手	自	-	京都西京区榎原	自	-
	伊根町亀島	防	-	京都西京区大枝	自	-
	伊根町日出	自	-	宇治市宇治琵琶	気	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-	宇治市折居台	防	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-	亀岡市安町	気	1
	京丹後市峰山町	自	-	亀岡市余部町	防	-
	京丹後市大宮町	自	-	城陽市寺田	自	-
	京丹後市網野町	自	-	向日市寺戸町	自	-
	京丹後市丹後町	自	-	長岡京市開田	自	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-	八幡市八幡	自	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-	大山崎町円明寺	自	-
与謝野町加悦	自	-	久御山町田井	自	-	
与謝野町岩滝	自	-	京田辺市田辺	自	-	
与謝野町四辻	自	-	井手町井手	自	-	
南 部	京都北区紫竹	自	-	宇治田原町立川	自	-
	京都北区中川	自	-	笠置町笠置	自	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-	和束町釜塚	自	-
	京都上京区今出川御前	自	-	精華町南稲八妻	自	-
	京都左京区広河原能見町	防	-	南山城村北大河原	自	-
	京都左京区田中	自	-	京丹波町坂原	気	-
	京都左京区鞍馬	自	-	京丹波町蒲生	自	-
	京都左京区花脊	自	-	京丹波町橘爪	自	-
	京都左京区岩倉	自	-	京丹波町本庄	自	-
	京都左京区大原	自	-	南丹市美山町島	自	-
	京都中京区西ノ京	気	-	南丹市園部町小桜町	自	1
	京都中京区河原町御池	自	-	南丹市八木町八木	自	1
	京都東山区清水	自	-	南丹市日吉町保野田	自	-
	京都下京区河原町塩小路	自	-	木津川市山城町上狛	自	-
	京都南区西九条	自	-	木津川市加茂町里	自	-
	京都右京区京北周山町	自	-	木津川市木津	自	-
	京都右京区太秦	自	-			

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、3月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

①京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



3月21日 15時56分 大阪府北部の地震 (M3.1、深さ11km)

(図中の×印は震央位置)



## 【地震一口メモ】

### 震度観測について

気象庁が発表する地震情報は、テレビやラジオ、インターネット等で配信され、国や地方公共団体、国民の皆様幅広く知られることとなります。その情報の一つである震度情報は、国や防災関係機関の初動対応等に利用されるだけでなく、被害の推定などの参考となる重要な情報です。









震度は、過去には人間による体感で観測していましたが、平成8年（1996年）4月からは、計測震度計という機械により自動観測をおこなっています。なお、京都府内には、地震情報に活用している気象庁、地方公共団体、防災科学技術研究所の震度計が計79か所あり、気象庁の震度計の配置図は、京都地方気象台HPで公開しています。

○【京都地方気象台HP】京都府内の観測所（アメダス含む）

[https://www.data.jma.go.jp/kyoto/3\\_know/observatory/index.html](https://www.data.jma.go.jp/kyoto/3_know/observatory/index.html)

気象庁が発表する震度は、気象庁HPにある以下の表の通り、震度0～7までの10階級（震度5、6は弱、強と2階級）あり、それぞれ階級によって揺れの状況や被害の程度が変わります。

### 震度とゆれの状況

0	<p><b>【震度0】</b> 人は揺れを感じない。</p> 	1	<p><b>【震度1】</b> 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p> 	2	<p><b>【震度2】</b> 屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。</p> 	3	<p><b>【震度3】</b> 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p> 
4	<p><b>【震度4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ほとんどの人が驚く。</li> <li>●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</li> <li>●座りの悪い置物が、倒れることがある。</li> </ul> 	6弱	<p><b>【震度6弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることが困難になる。</li> <li>●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</li> <li>●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> </ul> 				
5弱	<p><b>【震度5弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>●棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> <li>●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul> 	6強	<p><b>【震度6強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●はわないと動くことができない飛ばされることもある。</li> <li>●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。</li> <li>●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</li> </ul> 				
5強	<p><b>【震度5強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物につかまらなさと歩くことが難しい。</li> <li>●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。</li> <li>●固定していない家具が倒れることがある。</li> <li>●補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul> 	7	<p><b>【震度7】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。</li> <li>●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。</li> </ul> 				

この表は、ある震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。  
 詳しい解説は以下の気象庁ホームページに掲載しています。  
 気象庁震度階級関連解説表 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/shindo/kaisetsu.html>

○【気象庁HP】震度について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/shindo/index.html>

ここで、表の下にある注釈（赤枠）をご覧くださいと、以下のように記載されています。

「この表は、ある震度が観測された時にその周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。」

震度計は、基本的に市区町村に一つは設置されていますが、お住まいの住居などは、必ずしも震度計の近くにはなく、ある程度距離が離れていることが多いことから「周辺～目安」となっており、実際に観測した震度階級と地震により体感された（表のような）揺れが合わないこともあります。

さらに、震度は、震度計を設置している地盤の状況や地震波の伝わり方などにより震度1程度の違いがあることもあり、これらを知っていただいた上で、事前の備えや地震発生後の防災活動、被害の確認等にご利用ください。

これら震度を扱う際の注意点は、気象庁HPの震度階級関連解説表に「使用にあたっての留意事項」として記載されていますので、ご確認ください。

○【気象庁HP】気象庁震度階級関連解説表

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>